

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)拠出金 (任意拠出金)		担当部署	国際協力局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定) 年度	昭和63年度開始		担当課室	緊急・人道支援課		課長 青木 豊		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、 通知等	国際赤十字・赤新月社連盟規程第34条第3項及び第4項				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)は、各国赤十字・赤新月社の国際連合体であり、1963年には赤十字国際委員会(ICRC)と共にノーベル平和賞を受賞しており、国際的評価も高い。また、IFRCは案件の実施にあたって現地の赤十字・赤新月社と密接に協力している。IFRCに拠出することにより、我が国の人道支援に対する積極的な姿勢を国内外に示すと共に、現地機関のエンパワメントに繋がる支援を実施する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	IFRCは、自然災害・緊急災害時の被災者及び難民等に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力や、各国社の事業全般(特に健康の増進、病気の予防、苦痛の軽減)に関する協力の他、国際機関との協力も行っている。また、IFRCの活動は現地の赤十字・赤新月社を通じて実施されるため、政治的または治安上の理由により他の国際機関がアクセスできないような地域で案件を実施することが可能となっている。このようなIFRCの活動を通じて被災者等を支援する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	—	
		補正予算	278	678	604	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	278	678	604	—	—	
		執行額	278	678	604			
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	災害被害者の救援の実現 (IFRCによる緊急支援の対象者数) (達成度は、要請金額に対する受領金額で算出) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績	万人	168	750	366	
			達成度	%	78%	84%	48%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	緊急アピールの発出回数 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)		21	30	25	—
					()	()	()	
単位当たり コスト	53.5スイスフラン/人		算出根拠	687,045,793スイスフラン(2009年から2011年末までの緊急アピールの総額)÷1,284万人(緊急アピール全体の支援対象者数)=53.5スイスフラン				
平成24・25年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	IFRCによる事業は、主に開発途上国の災害等に対する草の根レベルの能力強化に繋がるものであり、ニーズは多く、また、優先度が高い。各国の政府に加えて、各国の赤十字・赤新月社もIFRCに対する拠出を行っているが、災害時の緊急支援等は、国として実施すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	IFRCは、現地の赤十字・赤新月社を最大限活用する形で事業を実施しており、費用対効果は極めて高い。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	IFRCが事業を実施する際は、現地の赤十字・赤新月社を活用するとともに、赤十字ボランティアを動員しており、確実な事業の実施及び事後のフォローアップ体制が整っているなど実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き効率的な事業の実施を求めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		－	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	79	平成23年行政事業レビュー	75